

令和元年 5月 27 日

時 分 受理

受付順位

発言順位

発 言 通 告 書

藤枝市議会議長 藪崎幸裕 様

藤枝市議会議員 2番 増田克彦 ㊟

次のとおり通知します。

発言の種類

代表質問

一般質問

緊急質問

1. 標 題

通学路/通園路の交通安全について

答弁を求める者 (市長・担当部長)

(要旨・内容)

最近は子供たちを巻き込む交通事故が多発しており、まことに痛ましい限りです。特にこの5月に滋賀県大津市の県道交差点で乗用車と軽乗用車が衝突し、そのはずみで軽乗用車が保育園児と保育士の列に突っ込んだという事故で2人の尊い幼い命が奪われましたことは記憶に新しいところです。

警察庁交通局が昨年3月にまとめた「児童・生徒の交通事故」という報告によりますと、平成25年から29年までの5年間に全国で総計26人の小学生が登下校中の交通事故で命を落としているとのことです。

このような背景の中、本市においても藤枝市交通安全計画、及び通学路交通安全プログラムに則り通学路の安全確保の努力がなされているところです。これらの状況について伺います。

[1]小学校の通学路について

- ①定期的な通学路の点検がありますが、この内容について伺います。
- ②近年の抽出箇所数の推移と、対策の進捗について伺います。
- ③課題抽出と対策の周知がどのようになされているか伺います。

[2]見守り隊について

- ①見守り隊の現在の人数と後継者の確保について見解を伺います。
- ②警察庁のまとめによる上記5年間の死亡事故数は登校時8名、下校時18名となっています。登校時よりも見守り隊が手薄になることも事故が多い一因である可能性もあります。これへの対応策を伺います。

[3] こども園児の通学路、散歩道の安全性についても早速6月の補正予算により調査及び対策が講じられるとのことで、迅速な対応が評価される所です。この対策について詳細計画を伺います。

[4] 昨年からは開始した、通学路に面したブロック塀の転倒防止対策について、現在対策はどこまで進んでいるか伺います。

2. 標 題

本市における ICT 活用の取組について
答弁を求める者 (市長・担当部長)

(要旨・内容)

東日本大震災の経験を踏まえた災害に強い街の実現、地域コミュニティの再生・地域活性化など、地域が抱える様々な課題を解決するため、ICTを活用した街づくりへの期待が高まっています。

本市では 2016 年から第 2 次藤枝市情報化基本計画が策定され、行政の情報化、地域の情報化を進めることで市民サービスの向上、安心・安全なまちづくり、効率的な行政運営など多くの分野で実績を上げています。ここでは本市における ICT 活用の取組について伺います。

- [1]日本各地や近隣市町などでは自治体クラウドの導入が始まっており、その効果が出ているようです。本市における自治体クラウドへの取組の現状を伺います。
- [2]関連して、次期基幹系システムの検討状況を伺います。
- [3]ICT 部門の業務継続計画 (ICT-BCP) 策定の状況を伺います。
- [4]公共データのオープン化への取組・進捗について伺います。
- [5]藤枝 ICT コンソーシアムの現状について伺います。
- [6]インバウンド着地型観光推進のための ICT 活用の現状を伺います。